

*Web*サービス & ワークフロー



Webサービス

- ⇒ GfdnaviのようにWebベースのサービスのこと？
 - ちがいます
- ⇒ HTTPなどのインターネット関連技術を応用して、SOAPとよばれるXML形式のプロトコルを用いメッセージの送受信を行う技術、またをそれを適用したサービス (Wikipedia)



SOAP

- ⇒ Simple Object Access Protocol
- ⇒ ソフトウェア同士がメッセージ(オブジェクト)を交換する(リモートプロシジャークール - 遠隔手続き呼び出し)ためのプロトコル (Wikipedia)



- ⇒ リモートとやりとりができる
- ⇒ つまり、メソッド(関数とかサブルーチンみたいなもの)を呼び出して、結果を受け取る、みたいなことができる

ローカル

2+3 を実行したい

リモート

```
def add(x,y)  
  return x+y  
end
```

メソッド“add”, 引数 2と3

XML

add(2,3) => 5

XML

結果は 5



Gfdnavi での *Webservice*

- ⇒ 無くてもマウスとブラウザがあればよい
- ⇒ 何がうれしいの？
 - ワークフロー(後述)をつくれれば繰り返し処理は簡単
 - ワークフローの使いまわしができる
 - P2Pには(たぶん)必須
 - ブラウザがなくてもよい



長所と短所

⇒ 長所

- 使用方法の幅が大きく広がる
- SOAPにのれば、クライアントはrubyでなくてもCでもJavaでもなんでもよい
- サーバー間の連携が容易
- ローカルとリモートの区別が小さくなる

⇒ 短所

- 基本的には、整数値、浮動小数値、文字列といった基本型データしかやり取りできない
- 全機能をwebサービス化できるかどうか



ワークフロー

- ⇒ 手順の流れ(そのまま)
- ⇒ どこそこサーバーの、なんとかっていうメソッドに、パラメータこれこれを渡して、結果をもとに、また.....
- ⇒ 要はスクリプト



⇒ 作成・編集

- ブラウザでの作業を記録できる
- ブラウザで編集できる
- もちろん手でも編集できる

⇒ フォーマット

- どうすればいいかまだ分からない
- XML (世の中の一般)
- Ruby + YAML (個人的には身近)

